

食と健康普及推進シンポジウム

健康長寿社会の健全な発展を目指して

食に課せられた使命に応える食の科学の育成

超高齢化時代を迎えている現在、健全な健康長寿社会の構築と、それに応える「食の科学」の発展と正しい情報発信に基づいた普及推進活動が強く求められています。

しかし、食の本質に基づく科学は極めて複雑で、その全貌を明確にすることは極めて難しく、期待される効能効果に関わる「食の科学」の世界は苦悩を続けているのも実情です。

このシンポジウムでは、このような実態を直視し、食の根源に立ち返った真摯な議論が必須であるという視点から、これからの「食の科学」とその活用はいかにあるべきかを論じ、クロレラの普及にも指針となる「食の科学」のあり方を提案する場として開催いたします。

基 調 講 演

I.

エピゲノムと生活習慣病

児玉 龍彦先生

(東京大学先端科学技術研究センター 教授)

広角的視点に立った実体験に基づく
これからの「食の科学」のあり方について

II.

食の効能効果と期待される食の役割 食の開発研究のあり方に関する一考察

清水 誠先生

(東京大学大学院 教授)

食の期待される効能効果に関する
将来展望について

III.

食と健康の正しい普及を目指して 食の臨床試験の視点から

板倉 弘重先生

(茨城キリスト教大学 名誉教授)

クロレラの臨床実験などの実例を基に
これからの食の臨床試験のあり方について

パネルディスカッション

これからの食に課せられた使命に応えるために 要請される食の科学のあり方

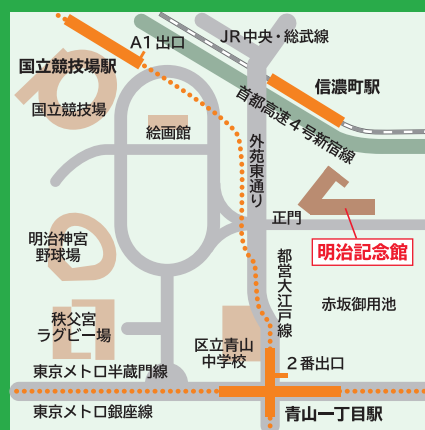
パネリスト：山田 和彦先生(女子栄養大学 教授)・板倉 弘重先生・清水 誠先生
司会：宮田 満先生(日経BP社 特命編集委員)

日時 2013年3月22日(金)
13:15 ~ 18:30

会場 明治記念館「紅梅」の間
東京都港区元赤坂2-2-23 TEL. 03-3746-7711

主催 非営利型一般社団法人 クロレラ健康栄養研究会
このシンポジウムは非営利型一般社団法人クロレラ健康栄養研究会の設立(2013年2月14日)を記念して、時代の要請に応える「食の科学」の育成というビジョンに則った新たな提言活動として実施いたします。

協賛 日本予防医学会
一般社団法人 日本生活習慣病予防協会
認定NPO法人 セルフメディケーション振興協議会
NPO法人 21世紀の食と健康文化会議



最寄り駅

- JR中央・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分
- 地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線【青山一丁目駅】下車(2番出口)、徒歩6分
- 地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車(A1出口)、徒歩6分

プロフィール

講師

児玉 龍彦先生（東京大学先端科学技術研究センター 教授）

1953年東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東京大学医学部助手、マサチューセッツ工科大学研究員などを経て、現在、東京大学先端科学技術研究センター教授（システム生物学）、東京大学アイソトープ総合センター長。

主な著書に、『内部被曝の真実』（幻冬舎新書）、『新興衰退国ニッポン』（金子勝氏と共著 講談社）、『逆システム学』（金子勝氏と共著 岩波新書）、『考える血管』（共著 講談社）などがある。

清水 誠先生（東京大学大学院 教授）

1949年生まれ。東京大学農学部農芸化学科卒、同大学大学院農学系研究科博士課程修了。日本学術振興会奨励研究員、ブリティッシュコロンビア大学、静岡県立大学食品栄養科学部助教授、東京大学農学部助教授などを経て、1996年、東京大学大学院農学生命科学研究科教授（現職）。日本酪農科学会賞（2007年）、日本農芸化学会功績賞（2008年）、飯島食品科学賞（2009年）など受賞。

主な著書に、『腸管上皮細胞の機能と食品による調節、消化と吸収』（放送大学教育振興会）、『食と健康』（共著 放送大学教育振興会）などがある。

板倉 弘重先生（茨城キリスト教大学 名誉教授）

1936年東京生まれ。東京大学医学部卒業後、同大医学部第三内科講師、国立健康・栄養研究所臨床栄養部長を歴任。主な研究分野は脂質代謝、動脈硬化。抗酸化物質。とくに、赤ワイン、ココアなど抗酸化作用を明らかにした研究で知られる。2009年度国際栄養学連合（IUNS）Fellowに認定（栄養学研究分野で顕著な貢献をした世界の研究者10名の1人）。主な著書に、『第三の栄養学』（ごま書房）、『抗酸化食品が体を守る』（河出書房新社）などがある。

パネリスト

山田 和彦先生（女子栄養大学 教授）

1952年生まれ。東京大学医学部保健学科卒業、同大学大学院医学系研究科博士課程保健学専攻修了。米国アリゾナ大学医学部（小児科栄養部門）に研究員として約2年留学。帰国後、東京大学医学部保健学科（保健栄養学）助手、明治製菓（株）生物科学研究所の主任研究員、国立健康・栄養研究所を経て現職。

主な著書（共著）に、『消化・吸収—基礎と臨床』、『食物繊維—基礎と応用』（第一出版）、『解剖生理学—人体の構造と機能』（羊土社）などがある。

司会

宮田 満先生（日経BP社 特命編集委員）

1950年東京都生まれ。東京大学理学系大学院植物学修士課程修了。日本経済新聞社入社、日経バイオテク編集長、医療局ニュースセンター長、バイオセンター長などを経て、2003年先端技術情報センター長、翌年より医療局バイオセンター長も兼務。2001年より慶應大学先端生命科学研究科客員教授。

主な著書に、『応用分子遺伝学』（講談社サイエンティフィック）、『バイオテクノロジーの夢と現実』（アイベック）、『バイオテクノロジーの農業哲学』（農林漁村文化協会）などがある。

参加費

一般：5,000円 / 企業：1社1名 10,000円 2名 15,000円（1社2名様までとさせていただきます）

参加方法

・Faxにて、下記の内容をご記入のうえ、お申し込みください。

FAX. 03-3811-1019 非営利型一般社団法人 クロレラ健康栄養研究会 事務局

①お名前、②会社名又は機関名、③所属部署名（役職名）、④連絡先（住所、電話、Fax番号）

・ご参加につきましては、定員（40名）になり次第、締切らせて頂きますので、ご了承ください。

・ご参加の方には、3月1日頃迄に受講券（ハガキ）を送付させていただきます。

お問い合わせ先

非営利型一般社団法人 クロレラ健康栄養研究会 事務局

東京都文京区本郷7丁目2-2 本郷ビル10階（NPO法人21世紀の食と健康文化会議 内）

TEL. 03-3811-1025 携帯 090-2462-5822 FAX. 03-3811-1019

※お急ぎの場合は上記携帯電話までご連絡ください。